

	3～4時間					
	A	B	C	D	E	F
	短時間集中コース	生活行為動作向上コース	活動性向上コース	自信回復コース(主に支援)	体力維持コース	日常生活維持コース
利用時点での動作・体力レベル	退院直後及び、何らかの理由で低下をきたしたとき	要介助レベル	要介助又は見守り 日常生活動作自立	日常生活自立 (体力低下時)	日常生活動作自立	進行性の疾患の方
リハマネ加算	I または II	II	I または II	I	I (支援は含む)	I または II
生活行為向上加算		○				
短期集中加算	○					
個別リハビリ	○(40分)	○	自主訓練中心	○	自主訓練中心	○or自主訓練
送迎	あり	あり	あり	あり	自分で来所もあり	自分で来所もあり
期間	3か月	6か月	6か月	3～6か月	特になし	特になし
	<p>退院直後、もしくは何らかの理由で動作能力に低下をきたした状態。</p> <p>生活動作が困難、または、ある程度できるが、自宅での生活にまだ慣れない等の理由で、リハビリ的な観察(動作能力・自主訓練等)が必要な方。</p> <p><u>週2回の利用が基本</u></p>	<p>退院直後、もしくは何らかの理由で動作能力に低下をきたした状態。</p> <p>特定の生活動作について不安があり、自立したい・介助量を減らしたい等の目標が明確な方。 (例：主婦として、料理が行えるようになりたい。近所の友人宅へ歩いて遊びに行けるようになりたい等)</p>	<p>AもしくはBコースでリハビリをしたが、リハビリを一人で行うことに不安がある等の方。</p> <p>自主的な活動が困難な方。(見守りがないとリハビリの継続が困難)</p> <p>※ 自主訓練にも何らかの補助が必要な方。</p>	<p>なぜか最近動作で不安に思うことが出てきた、最近体力がなくなってきた等、身体に自信がなくなってきた方。</p>	<p>何らかの障害があり、自宅でのリハビリには自信がないが、施設やほかの方々が頑張っている中でなら、リハビリが行えるという方。</p> <p>ホームエクササイズの”宿題”が出る場合があります。</p>	<p>進行性の疾患の方で、状態の安定している方。</p> <p>症状の進行により、リハマネ加算IIの算定や適切な他のサービスへの移行が必要となります。適宜、評価を行い、症状の経過を観察します。</p>
	集中的・時に自宅訪問	集中的・時に自宅で行う。	簡単・プログラム立案・経過観察	プログラム立案・観察程度	プログラム立案・観察程度	簡単・プログラム立案・経過観察

A. 短時間集中コース

期間の制限があり、終了後は卒業(デイサービスへの移行を含む)、またはその能力(医師・PTが判断)に応じてBコース・Cコース またはEコースに移行します。

コース終了については、リハビリ会議にて医師・ご家族様・ケアマネジャー様などと話し合いにて決めていきます。

B. 生活行為動作向上コース

期間の制限があり、終了後は卒業(デイサービスへの移行を含む)、またはその能力(医師・PTが判断)に応じてCコースまたはEコースに移行します。

コース終了については、リハビリ会議にて医師・ご家族様・ケアマネジャー様などと話し合いにて決めていきます。

C. 活動性向上コース

期間の制限があり、終了後は卒業(デイサービスへの移行を含む)、またはその能力(医師・PTが判断)に応じてEコースに移行します。

コース終了については、リハマネ加算Ⅱの場合は、リハビリ会議にて医師・ご家族様・ケアマネジャー様などと話し合い、その後の動向を決めていきます。リハマネ加算Ⅰの場合は、定期報告書にて状況を報告。終了前にはリハビリ会議(または担当者会議)にて、ご家族様・ケアマネジャー様などと話し合い、終了後の動向を決めていきます。

D. 自信回復コース

主に体力低下を感じられる支援の方が対象になります。期間の制限があり、終了後は卒業(デイサービスへの移行を含む)、またはその能力(医師・PTが判断)に応じてEコースに移行します。

コース終了については、事前に経過を報告し、ご本人様・ご家族様・ケアマネジャー様などと話し合いにて決めていきます。

E. 体力維持コース

リハビリでは目標達成や維持が目標のレベルとなったが、当施設でのリハビリの継続を希望される方。

ある程度ご自身でリハビリが行える方が対象です。

人数の制限があり、移行できない場合もありますのでご了承をお願いいたします。

F. 日常生活維持コース

若年の進行性疾患で日常生活の維持を目的の方。

状態により、リハマネ加算Ⅱの算定をさせていただくことがあります。